

将来のビジネスパートナーへの 成長を願って

東日本電信電話株式会社
宮城事業部 ビジネスイノベーション部
まちづくり推進グループ まちづくり推進担当
担当課長 高橋 由佳



1. 「とうほくプロコン」との出会いと NTT 東日本が提供する価値

東日本電信電話株式会社宮城事業部(以下、NTT 東日本)は、「とうほくプロコン」の共催企業として活動しています。

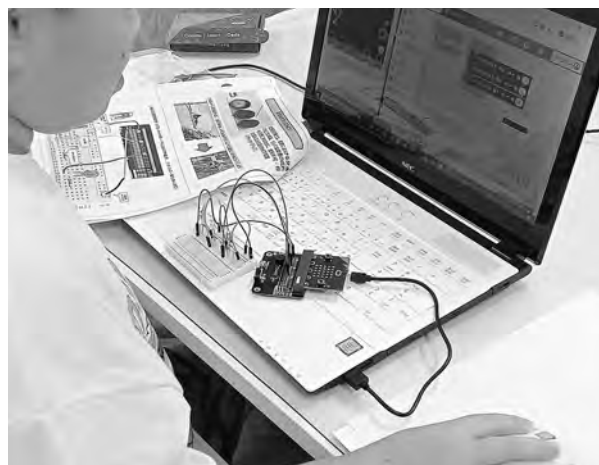
「子どもたちに創造する力とモノづくりの楽しさを広めたい」という想いを持って「とうほくプロコン」を展開されている PCN 仙台会長の荒木さん(通称:親方)の活動に強く共感し、取り組みをスタートさせました。

2023年度はパートナー企業として、プログラミング講座を実施する場を提供しました。参加した子どもたちが生き活きとプログラミングを学び、自ら課題を解決するためにアイデアを具現化する姿に感銘を受け、講座の意義を実感したところです。

2023年度の経験を踏まえ、2024年度は親子で楽しく学びを深めるプログラムとして「第1回とうほくぷちプロコン」を開催しました。「ぷちプロコン」は「親子」がキーワードです。身近な“困った”をテーマに、ICT×工作で解決する作品制作講座を中心とした活動で、親子が

一緒に“困った”を解決することで、講座終了後の日常生活においても親子で一緒に考え、生活の中の課題を解決していくことが可能になると考えています。実際に「部屋の室温調節」「暗いところを歩く際の工夫」などをプログラミングで実現している姿は頼もしい限りです。

制作講座の一部として、NTT 東日本からは「AI 講座」を提供しています。AI 技術は今後ますます重要になるため、早い段階での学習は将来のキャリアに大いに役立ちます。AI の基本的な概念や技術を理解することで、将来的に様々な分野で活躍できる人材になることを期待しています。



制作講座の様様



親子で学ぶ制作講座の様様



AI 講座

今年の AI 講座では、「画像処理による物体検出の仕組み」をテーマに掲げました。AI が発展する以前の「伝統的なルールベースの顔検出アルゴリズム」を、光の正体、光の三原色 (RGB)、コンピュータ上での画像の仕組み (ハードウェア / ソフトウェア) を紹介しながら解説しています。デジタル顕微鏡を用いて、液晶ディスプレイの各画素が RGB のフィルタで実現されていることを確認したり、画像を拡大して各画素が RGB の数値で表現されていることを確認したりします。

また、Web カメラを用いて、実際に子ども達の顔や目、鼻、口、右耳、左耳を検出する体験を行い、画像処理アルゴリズムの性能を確認しました。実際に画像処理の仕組みを体験できる講座とすることで、子ども達は目を輝かせて受講し、新たな知識を得ています。このようにプログラミング教室に加え AI 講座という価値を提供することで、新しいテクノロジーに興味を持ち、自ら学ぶことができる人材の育成ができると考えています。

2. 「スマートイノベーションラボ仙台」で活動を実施する意義

この活動は、NTT 東日本が運営する地域共創拠点として、2024年3月、仙台市中心部に誕生したアーバンネット仙台中央ビル内にリニューアルオープンした「スマートイノベーションラボ仙台」で行っています。こちらの施設では、連携パートナーである仙台市などの自治体や企業と連携し、イノベーション創出に向けて様々な活動を行っています。セミナーやワークショップを通じたスタートアップ支援、AI や IoT を活用した実証実験などがその例です。そして地域のデジタル人材育成により、将来的に地域で活躍できる人材を輩出し、東北から新たなビジネスを創出したいと考えています。



スマートイノベーションラボ仙台(上下)

スマートイノベーションラボ仙台のルーム内には AI などの様々な技術を活用した展示もあり、制作講座に参加した子どもたちも毎回技術に触れることを楽しんでいます。特に、ミニカーを使って AI を活用した技術を体験できる「ナンバープレート検知」のデモは人気があり、実際にミニカーを動かすとプレートが検知される様子を体験しながら、この技術がマーケティング等に役立つものであることを学習しています。

このような体験型プログラムを提供することで、子どもたちから「東北で学ぶのは楽しい」という意識が醸成され、成長した際には自信を持って東北で新しいスタートを切るような人材に成長することを期待しています。



ナンバープレート検知



展示を体験する子どもたち

3. 「とうほくプロコン」参画をきっかけとして NTT 東日本が目指すこと

NTT 東日本が「とうほくプロコン」に参画することで目指していることは以下の3点です。

■地域のデジタル人材育成

プログラミングに関する教育は、今後ますます重要になる IT スキルの基礎を築くために不可欠です。小中学生時代から、学校以外の場所でもプログラミングや AI に触れることで、技術力のみならず論理的思考が鍛えられ、将来的にどのような業界でも活躍できる人材を育成す

ることができると考えています。デジタル人材が増えることで、地域から新たなビジネスやスタートアップが生まれる可能性も高まります。

■将来の仙台、宮城、東北を支える起業家、スタートアップの創出による産業の振興

「とうほくプロコン」は小中学生向けですが、「スマートイノベーションラボ」仙台では本プログラムを皮切りに、高校生向け AI 講座、大学生向け事業構想プログラム等を企画しています。その後は連携している自治体等とともに、小学生がスタートさせた活動を起業または地域での活躍までサポートしていきます。例えば NTT 東日本の連携パートナーであり、充実したスタートアップ支援メニューを有する仙台市主催のスタートアップ輩出プログラム採択者となることを目標に、事業構想から実現までのサポートなどを行います。長期間にわたる継続した取り組みにより、本人の成長に貢献できることはもちろん、地域の振興にも貢献できると考えています。

■NTT 東日本とのビジネス創造

そして起業や地域での活躍までのサポートに留まらず、起業後は NTT 東日本のビジネスパートナーとして、ともに地域に貢献できる新たなビジネスを創出したいと考えています。今後、地域課題解決に資するビジネスを創り出す際には、必ず小中学生から継続して学び続けた経験が役立つでしょう。そして、地域で育った人材が活躍することで、地域全体での DX が進み、より魅力的でスマートな地域社会の実現につながるビジネスを生み出していけると考えて

います。

「とうほくプロコン」共催企業として、本プログラムの卒業生と一緒に、いつか世の中に新しい価値を提供する日が来ることを楽しみにしています。